

〈土壌測定結果（工事完了後）〉

この調査は、解体工事の完了後に館清掃事業所の敷地境界付近の4地点（東西南北の4地点）において、土壌中のダイオキシン類濃度を測定したものです。解体工事前に上記4地点に設置しておいた標準土（ダイオキシン類の含有量がゼロの土）について、その表面付近を採取した試料を分析しました。

この測定結果で、工事完了後に周辺土壌へダイオキシン類が拡散していないことを確認します。

※分析結果一覧表のとおり、すべて基準値を下回る結果となりました。

分析結果一覧表

工 事 名：八王子市館清掃工場解体工事

測定場所：八王子市館清掃工場（東京都八王子市館町2700番地）

調査内容：土壌（ダイオキシン類）			
作業工程：解体工事後			
採取日：平成29年8月7日			(単位：pg-TEQ/g)
試料名	分析結果	(参考) 工事前	環境基準値 (調査指標値)
敷地境界 北	0	0	1,000 (250)
敷地境界 南	0	0	
敷地境界 東	0	0	
敷地境界 西	0	0	

測定分析結果報告書

ご報告先: 八王子市

殿

発行年月日: 平成 29 年 8 月 29 日

受注番号: 46201508



ASNITE 0102 T

事業者名 株式会社島津テクノリサーチ
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
試験所名 株式会社島津テクノリサーチ 本社
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
Phone (075)811-9353 FAX (075)821-7837

発行者: 環境事業部 極微量分析センター 副センター長
山下 道子 (印)

JIS Q 17025(2005)(ISO/IEC 17025(2005))の要求事項を満たす試験を行った結果であることを下記のとおり報告致します。
持込試料について弊社は試料受け取り後の工程について責を負います。

件名 八王子市館清掃工場解体工事

ご依頼者及び住所: 株式会社E-SYSTEM 福岡県福岡市博多区対馬小路 1-21-3F
試料採取: ご依頼者持込(試料受取日: 平成 29 年 8 月 8 日)
測定対象施設: 八王子市館清掃工場 東京都八王子市館町 2700 番地
測定分析項目及び方法: ダイオキシン類 「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」
環境省 水・大気環境局 土壌環境課(平成 21 年 3 月)
測定分析結果: 結果を以下に示す(詳細は 2/2 ページに示す)。

測定分析項目	試料名	敷地境界 北 標準土 (解体工事後)	
		採取日時	平成 29 年 8 月 7 日
単位			12:00
実測濃度	PCDDs	pg/g	N.D.
	PCDFs	pg/g	N.D.
	PCDDs+PCDFs	pg/g	N.D.
毒性当量	PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/g	0
	コプラナーPCB	pg-TEQ/g	0
	ダイオキシン類	pg-TEQ/g	0

1. 毒性当量は WHO-TEF(2006)に基づいて算出した。
2. 毒性当量は定量下限未満の値を 0 として算出した値である。
3. 表示は有効数字 2 桁で示したが、合計値(PCDDs+PCDFs、ダイオキシン類)の計算においては丸める前の数字を使っている。そのため、表示上の数値が一致しないことがある。

以下余白

技術管理者		
試料採取	分析	報告書
	(印)	(印)

測定分析結果詳細

敷地境界 北 標準土(解体工事後)(平成 29 年 8 月 7 日採取)

試料量:50.0 g		実測濃度 (pg/g)	定量下限 (pg/g)	検出下限 (pg/g)	毒性 等価係数	毒性当量 1 (pg-TEQ/g)	毒性当量 2 (pg-TEQ/g)
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
	1,2,3,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.03	0	0.0045
	2,3,4,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.3	0	0.045
	1,2,3,4,7,8 - HxCDF	N.D.	1.5	0.5	0.1	0	0.025
	1,2,3,6,7,8 - HxCDF	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDF	N.D.	1.7	0.5	0.1	0	0.025
	2,3,4,6,7,8 - HxCDF*	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDF	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	1,2,3,4,7,8,9 - HpCDF	N.D.	1.8	0.6	0.01	0	0.003
	OCDF	N.D.	3	1	0.0003	0	0.00015
Total PCDFs		—	—	—	—	0	0.16015
ポリ塩化ジベンゾ パラジオキシン	1,3,6,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	1,3,7,9 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,7,8 - PeCDD	N.D.	1.1	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,4,7,8 - HxCDD	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,6,7,8 - HxCDD	N.D.	1.4	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDD	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDD	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	OCDD	N.D.	3.0	0.9	0.0003	0	0.000135
Total PCDDs		—	—	—	—	0	0.362635
Total (PCDFs+PCDDs)		—	—	—	—	0	0.522785
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5'- TeCB (#81)	N.D.	1.7	0.5	0.0003	0	0.000075
	3,3',4,4' - TeCB (#77)	N.D.	1.6	0.5	0.0001	0	0.000025
	3,3',4,4',5'- PeCB (#126)	N.D.	1.6	0.5	0.1	0	0.025
	3,3',4,4',5,5' - HxCB (#169)	N.D.	1.5	0.5	0.03	0	0.0075
	Non-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.032600
	2',3,4,4',5- PeCB (#123)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5- PeCB (#118)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,3',4,4' - PeCB (#105)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5- PeCB (#114)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5,5' - HxCB (#167)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5- HxCB (#156)	N.D.	1.7	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5' - HxCB (#157)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5' - HpCB (#189)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	Mono-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.0000630
Total コプラナー-PCB		N.D.	—	—	—	0	0.0326630
ダイオキシン類		—	—	—	—	0	0.56

*1,2,3,6,8,9-HxCDF を含んだ定量値を示している

PCDDs (pg/g)		PCDFs (pg/g)	
	実測濃度		実測濃度
TeCDDs	N.D.	TeCDFs	N.D.
PeCDDs	N.D.	PeCDFs	N.D.
HxCDDs	N.D.	HxCDFs	N.D.
HpCDDs	N.D.	HpCDFs	N.D.
OCDD	N.D.	OCDF	N.D.
PCDDs Total	N.D.	PCDFs Total	N.D.
PCDDs /PCDFs Total		N.D.	

備考 1 異性体の実測濃度は、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で、検出下限未満は”N.D.”と記載した。

2 PCDDs/DFs 同族体の実測濃度は、検出下限未満の値を”N.D.”と記載した。

3 毒性当量 1 は、定量下限未満の実測濃度を 0 として算出した。

4 毒性当量 2 は検出下限以上定量下限未満の値はそのまま、検出下限未満の値は検出下限の 1/2 として算出した。

5 毒性等価係数は Toxicity Equivalency Factor(WHO-TEF(2006))を適用した。

測定分析結果報告書

ご報告先: 八王子市

殿

発行年月日: 平成 29 年 8 月 29 日

受注番号: 46201508



ASNITE 0102 T

事業者名 株式会社島津テクノリサーチ
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
試験所名 株式会社島津テクノリサーチ 本社
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
Phone (075)811-9353 FAX (075)821-7837

発行者: 環境事業部 極微量分析センター 副センター長
山下 道子 (印)

JIS Q 17025(2005)(ISO/IEC 17025(2005))の要求事項を満たす試験を行った結果であることを下記のとおり報告致します。
持込試料について弊社は試料受け取り後の工程について責を負います。

件名 八王子市館清掃工場解体工事

ご依頼者及び住所: 株式会社E-SYSTEM 福岡県福岡市博多区対馬小路1-21-3F
試料採取: ご依頼者持込(試料受取日:平成29年8月8日)
測定対象施設: 八王子市館清掃工場 東京都八王子市館町2700番地
測定分析項目及び方法: ダイオキシン類 「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」
環境省 水・大気環境局 土壌環境課(平成21年3月)
測定分析結果: 結果を以下に示す(詳細は2/2ページに示す)。

測定分析項目	試料名	敷地境界 南 標準土 (解体工事後)	
		採取日時	平成29年8月7日
実測濃度	単位	12:20	
	PCDDs	pg/g	N.D.
	PCDFs	pg/g	N.D.
毒性当量	PCDDs+PCDFs	pg/g	N.D.
	PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/g	0
	コプラナーPCB	pg-TEQ/g	0
毒性当量	ダイオキシン類	pg-TEQ/g	0

1. 毒性当量はWHO-TEF(2006)に基づいて算出した。
2. 毒性当量は定量下限未満の値を0として算出した値である。
3. 表示は有効数字2桁で示したが、合計値(PCDDs+PCDFs、ダイオキシン類)の計算においては丸める前の数字を使っている。そのため、表示上の数値が一致しないことがある。

以下余白

技術管理者		
試料採取	分析	報告書
	(印)	(印)

測定分析結果詳細

敷地境界 南 標準土(解体工事後)(平成 29 年 8 月 7 日採取)

試料量: 50.0 g

		実測濃度 (pg/g)	定量下限 (pg/g)	検出下限 (pg/g)	毒性 等価係数	毒性当量 1 (pg-TEQ/g)	毒性当量 2 (pg-TEQ/g)
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
	1,2,3,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.03	0	0.0045
	2,3,4,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.3	0	0.045
	1,2,3,4,7,8 - HxCDF	N.D.	1.5	0.5	0.1	0	0.025
	1,2,3,6,7,8 - HxCDF	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDF	N.D.	1.7	0.5	0.1	0	0.025
	2,3,4,6,7,8 - HxCDF*	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDF	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	1,2,3,4,7,8,9 - HpCDF	N.D.	1.8	0.6	0.01	0	0.003
	OCDF	N.D.	3	1	0.0003	0	0.00015
	Total PCDFs	—	—	—	—	0	0.16015
ポリ塩化ジベンゾ パラジオキシン	1,3,6,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	1,3,7,9 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,7,8 - PeCDD	N.D.	1.1	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,4,7,8 - HxCDD	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,6,7,8 - HxCDD	N.D.	1.4	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDD	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDD	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	OCDD	N.D.	3.0	0.9	0.0003	0	0.000135
	Total PCDDs	—	—	—	—	0	0.362635
	Total (PCDFs+PCDDs)	—	—	—	—	0	0.522785
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5'- TeCB (#81)	N.D.	1.7	0.5	0.0003	0	0.000075
	3,3',4,4'- TeCB (#77)	N.D.	1.6	0.5	0.0001	0	0.000025
	3,3',4,4',5'- PeCB (#126)	N.D.	1.6	0.5	0.1	0	0.025
	3,3',4,4',5,5'- HxCB (#169)	N.D.	1.5	0.5	0.03	0	0.0075
	Non-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.032600
	2',3,4,4',5'- PeCB (#123)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5'- PeCB (#118)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,3',4,4'- PeCB (#105)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5'- PeCB (#114)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5,5'- HxCB (#167)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#156)	N.D.	1.7	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#157)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5'- HpCB (#189)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	Mono-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.0000630
	Total コプラナー-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.0326630
	ダイオキシン類	—	—	—	—	0	0.56

*1,2,3,6,8,9-HxCDF を含んだ定量値を示している

PCDDs (pg/g)		PCDFs (pg/g)	
	実測濃度		実測濃度
TeCDDs	N.D.	TeCDFs	N.D.
PeCDDs	N.D.	PeCDFs	N.D.
HxCDDs	N.D.	HxCDFs	N.D.
HpCDDs	N.D.	HpCDFs	N.D.
OCDD	N.D.	OCDF	N.D.
PCDDs Total	N.D.	PCDFs Total	N.D.
PCDDs /PCDFs Total		N.D.	

備考 1 異性体の実測濃度は、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で、検出下限未満は"N.D."と記載した。

2 PCDDs/DFs 同族体の実測濃度は、検出下限未満の値を"N.D."と記載した。

3 毒性当量 1 は、定量下限未満の実測濃度を 0 として算出した。

4 毒性当量 2 は検出下限以上定量下限未満の値はそのまま、検出下限未満の値は検出下限の 1/2 として算出した。

5 毒性等価係数は Toxicity Equivalency Factor (WHO-TEF(2006))を適用した。

測定分析結果報告書

ご報告先: 八王子市

殿

発行年月日: 平成 29 年 8 月 29 日

受注番号: 46201508



ASNITE 0102 T

事業者名 株式会社島津テクノリサーチ
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
試験所名 株式会社島津テクノリサーチ 本社
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
Phone (075)811-9353 FAX (075)821-7837

発行者: 環境事業部 極微量分析センター 副センター長
山下 道子

JIS Q 17025(2005)(ISO/IEC 17025(2005))の要求事項を満たす試験を行った結果であることを下記のとおり報告致します。
持込試料について弊社は試料受け取り後の工程について責を負います。

件名 八王子市館清掃工場解体工事

ご依頼者及び住所: 株式会社E-SYSTEM 福岡県福岡市博多区対馬小路 1-21-3F
試料採取: ご依頼者持込(試料受取日:平成 29 年 8 月 8 日)
測定対象施設: 八王子市館清掃工場 東京都八王子市館町 2700 番地
測定分析項目及び方法: ダイオキシン類 「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」
環境省 水・大気環境局 土壌環境課(平成 21 年 3 月)
測定分析結果: 結果を以下に示す(詳細は 2/2 ページに示す)。

測定分析項目	試料名	敷地境界 東 標準土 (解体工事後)	
		採取日時	平成 29 年 8 月 7 日
単位			12:10
実測濃度	PCDDs	pg/g	N.D.
	PCDFs	pg/g	N.D.
	PCDDs+PCDFs	pg/g	N.D.
毒性当量	PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/g	0
	コプラナーPCB	pg-TEQ/g	0
	ダイオキシン類	pg-TEQ/g	0

1. 毒性当量は WHO-TEF(2006)に基づいて算出した。
2. 毒性当量は定量下限未満の値を 0 として算出した値である。
3. 表示は有効数字 2 桁で示したが、合計値(PCDDs+PCDFs、ダイオキシン類)の計算においては丸める前の数字を使っている。そのため、表示上の数値が一致しないことがある。

以下余白

技術管理者		
試料採取	分析	報告書

測定分析結果詳細

敷地境界 東 標準土(解体工事後)(平成 29 年 8 月 7 日採取)

試料量:50.0 g

		実測濃度 (pg/g)	定量下限 (pg/g)	検出下限 (pg/g)	毒性 等価係数	毒性当量 1 (pg-TEQ/g)	毒性当量 2 (pg-TEQ/g)
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
	1,2,3,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.03	0	0.0045
	2,3,4,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.3	0	0.045
	1,2,3,4,7,8 - HxCDF	N.D.	1.5	0.5	0.1	0	0.025
	1,2,3,6,7,8 - HxCDF	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDF	N.D.	1.7	0.5	0.1	0	0.025
	2,3,4,6,7,8 - HxCDF*	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDF	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	1,2,3,4,7,8,9 - HpCDF	N.D.	1.8	0.6	0.01	0	0.003
	OCDF	N.D.	3	1	0.0003	0	0.00015
Total PCDFs		—	—	—	—	0	0.16015
ポリ塩化ジベンゾ パラジオキシン	1,3,6,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	1,3,7,9 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,7,8 - PeCDD	N.D.	1.1	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,4,7,8 - HxCDD	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,6,7,8 - HxCDD	N.D.	1.4	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDD	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDD	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	OCDD	N.D.	3.0	0.9	0.0003	0	0.000135
Total PCDDs		—	—	—	—	0	0.362635
Total (PCDFs+PCDDs)		—	—	—	—	0	0.522785
コプラナー ポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5'- TeCB (#81)	N.D.	1.7	0.5	0.0003	0	0.000075
	3,3',4,4'- TeCB (#77)	N.D.	1.6	0.5	0.0001	0	0.000025
	3,3',4,4',5'- PeCB (#126)	N.D.	1.6	0.5	0.1	0	0.025
	3,3',4,4',5,5'- HxCB (#169)	N.D.	1.5	0.5	0.03	0	0.0075
	Non-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.032600
	2',3,4,4',5'- PeCB (#123)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5'- PeCB (#118)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,3',4,4'- PeCB (#105)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5'- PeCB (#114)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5,5'- HxCB (#167)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#156)	N.D.	1.7	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#157)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5'- HpCB (#189)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	Mono-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.0000630
Total コプラナー-PCB		N.D.	—	—	—	0	0.0326630
ダイオキシン類		—	—	—	—	0	0.56

*1,2,3,6,8,9-HxCDF を含んだ定量値を示している

PCDDs (pg/g)		PCDFs (pg/g)	
	実測濃度		実測濃度
TeCDDs	N.D.	TeCDFs	N.D.
PeCDDs	N.D.	PeCDFs	N.D.
HxCDDs	N.D.	HxCDFs	N.D.
HpCDDs	N.D.	HpCDFs	N.D.
OCDD	N.D.	OCDF	N.D.
PCDDs Total	N.D.	PCDFs Total	N.D.
PCDDs /PCDFs Total		N.D.	

備考 1 異性体の実測濃度は、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で、検出下限未満は"N.D."と記載した。

2 PCDDs/DFs 同族体の実測濃度は、検出下限未満の値を"N.D."と記載した。

3 毒性当量 1 は、定量下限未満の実測濃度を 0 として算出した。

4 毒性当量 2 は検出下限以上定量下限未満の値はそのまま、検出下限未満の値は検出下限の 1/2 として算出した。

5 毒性等価係数は Toxicity Equivalency Factor (WHO-TEF(2006))を適用した。

測定分析結果報告書

ご報告先: 八王子市

殿

発行年月日: 平成 29 年 8 月 29 日

受注番号: 46201508



ASNITE 0102 T

事業者名 株式会社島津テクノリサーチ
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
試験所名 株式会社島津テクノリサーチ 本社
所在地 〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町1番地
Phone (075)811-9353 FAX (075)821-7837

発行者: 環境事業部 極微量分析センター 副センター長
山下 道子 (印)

JIS Q 17025(2005)(ISO/IEC 17025(2005))の要求事項を満たす試験を行った結果であることを下記のとおり報告致します。
持込試料について弊社は試料受け取り後の工程について責を負います。

件名 八王子市館清掃工場解体工事

ご依頼者及び住所: 株式会社E-SYSTEM 福岡県福岡市博多区対馬小路 1-21-3F
試料採取: ご依頼者持込(試料受取日:平成 29 年 8 月 8 日)
測定対象施設: 八王子市館清掃工場 東京都八王子市館町 2700 番地
測定分析項目及び方法: ダイオキシン類 「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」
環境省 水・大気環境局 土壌環境課(平成 21 年 3 月)
測定分析結果: 結果を以下に示す(詳細は 2/2 ページに示す)。

測定分析項目	試料名		敷地境界 西 標準土 (解体工事後)
	採取日時	単位	
			平成 29 年 8 月 7 日 12:30
実測濃度	PCDDs	pg/g	N.D.
	PCDFs	pg/g	N.D.
	PCDDs+PCDFs	pg/g	N.D.
毒性当量	PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/g	0
	コプラナーPCB	pg-TEQ/g	0
	ダイオキシン類	pg-TEQ/g	0

1. 毒性当量は WHO-TEF(2006)に基づいて算出した。
2. 毒性当量は定量下限未満の値を 0 として算出した値である。
3. 表示は有効数字 2 桁で示したが、合計値(PCDDs+PCDFs、ダイオキシン類)の計算においては丸める前の数字を使っている。そのため、表示上の数値が一致しないことがある。

以下余白

技術管理者		
試料採取	分析	報告書
	(印)	(印)

測定分析結果詳細

敷地境界 西 標準土(解体工事後)(平成 29 年 8 月 7 日採取)

試料量: 50.0 g		実測濃度 (pg/g)	定量下限 (pg/g)	検出下限 (pg/g)	毒性 等価係数	毒性当量 1 (pg-TEQ/g)	毒性当量 2 (pg-TEQ/g)
ポリ塩化ジベンゾフラン	1,2,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDF	N.D.	1.0	0.3	0.1	0	0.015
	1,2,3,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.03	0	0.0045
	2,3,4,7,8 - PeCDF	N.D.	0.9	0.3	0.3	0	0.045
	1,2,3,4,7,8 - HxCDF	N.D.	1.5	0.5	0.1	0	0.025
	1,2,3,6,7,8 - HxCDF	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDF	N.D.	1.7	0.5	0.1	0	0.025
	2,3,4,6,7,8 - HxCDF*	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDF	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	1,2,3,4,7,8,9 - HpCDF	N.D.	1.8	0.6	0.01	0	0.003
	OCDF	N.D.	3	1	0.0003	0	0.00015
Total PCDFs		—	—	—	—	0	0.16015
ポリ塩化ジベンゾ パラジオキシン	1,3,6,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	1,3,7,9 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	—	—	—
	2,3,7,8 - TeCDD	N.D.	0.9	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,7,8 - PeCDD	N.D.	1.1	0.3	1	0	0.15
	1,2,3,4,7,8 - HxCDD	N.D.	1.5	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,6,7,8 - HxCDD	N.D.	1.4	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,7,8,9 - HxCDD	N.D.	1.2	0.4	0.1	0	0.02
	1,2,3,4,6,7,8 - HpCDD	N.D.	1.7	0.5	0.01	0	0.0025
	OCDD	N.D.	3.0	0.9	0.0003	0	0.000135
Total PCDDs		—	—	—	—	0	0.362635
Total (PCDFs+PCDDs)		—	—	—	—	0	0.522785
コプラナーポリ塩化ビフェニル	3,4,4',5'- TeCB (#81)	N.D.	1.7	0.5	0.0003	0	0.000075
	3,3',4,4'- TeCB (#77)	N.D.	1.6	0.5	0.0001	0	0.000025
	3,3',4,4',5'- PeCB (#126)	N.D.	1.6	0.5	0.1	0	0.025
	3,3',4,4',5,5'- HxCB (#169)	N.D.	1.5	0.5	0.03	0	0.0075
	Non-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.032600
	2',3,4,4',5'- PeCB (#123)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5'- PeCB (#118)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,3',4,4'- PeCB (#105)	N.D.	1.9	0.6	0.00003	0	0.000009
	2,3,4,4',5'- PeCB (#114)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3',4,4',5,5'- HxCB (#167)	N.D.	1.6	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#156)	N.D.	1.7	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5'- HxCB (#157)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5'- HpCB (#189)	N.D.	1.8	0.5	0.00003	0	0.0000075
	Mono-ortho co-PCB	N.D.	—	—	—	0	0.0000630
Total コプラナーPCB		N.D.	—	—	—	0	0.0326630
ダイオキシン類		—	—	—	—	0	0.56

*1,2,3,6,8,9-HxCDF を含んだ定量値を示している

PCDDs (pg/g)		PCDFs (pg/g)	
	実測濃度		実測濃度
TeCDDs	N.D.	TeCDFs	N.D.
PeCDDs	N.D.	PeCDFs	N.D.
HxCDDs	N.D.	HxCDFs	N.D.
HpCDDs	N.D.	HpCDFs	N.D.
OCDD	N.D.	OCDF	N.D.
PCDDs Total	N.D.	PCDFs Total	N.D.
PCDDs /PCDFs Total		N.D.	

備考 1 異性体の実測濃度は、検出下限以上定量下限未満の濃度は括弧付きの数字で、検出下限未満は"N.D."と記載した。

2 PCDDs/DFs 同族体の実測濃度は、検出下限未満の値を"N.D."と記載した。

3 毒性当量 1 は、定量下限未満の実測濃度を 0 として算出した。

4 毒性当量 2 は検出下限以上定量下限未満の値はそのまま、検出下限未満の値は検出下限の 1/2 として算出した。

5 毒性等価係数は Toxicity Equivalency Factor(WHO-TEF(2006))を適用した。